

土づくり二十数年、大麦収量580kg/10a



ファイナファームしもなか

代表理事組合長 武澤 義明

設立 平成10年 2月 5日

事業内容 水稻 24ha
麦 8ha
大豆 8.9ha

主な農機 トラクタ 3台
田植え機 (6条) 3台
コンバイン (Japan) 2台
〃 (大豆用) 1台
乗用管理機 2台

取材日 平成25年10月7日(月)

はじめに 土づくりは作物を栽培する上での基本技術といわれながら、

- ① 効果が分かりにくい。
- ② 基肥は入れなければならないが、土づくり肥料は特段入れなくても良いのではないか。
- ③ 米価が十分でない中で、農家が最初に削るのが土づくり関連の経費。

この3点を主たる理由として土づくりが低迷しています。

そこで、県下で長年土づくりに力を入れ、土づくりの効果が表れている優良事例である、J A福井市管内ファイナファームしもなかの武澤代表理事組合長にお話を伺い、今後の土づくりの在り方を探ってみました。

土づくりを始めたきっかけは？

もう二十数年前になるが、集団転作の時、稲わらを燃やしていた時代がありました。行政は稲わらを鋤きこみ腐熟させることの重要性から稲わらの還元に補助を出すようになりました。丁度このころメーカーの方が直接私のところへケイカルの効果について説明にこられやってみようか。」と思ったのがきっかけです。

土づくり肥料の施用量は？

10アールあたりフレコンでケイカルを200kg二十年以上継続して施用しています。



土づくりの効果

大麦で収量は10アールあたり500kg、大豆では10アールあたり300kg程度、例年収量があります。今年大麦は、580kgありました。ここ20年で土づくり肥料に3,000万円投資したことになりますが、毎年今まで投資したものが返ってくるというのが実感です。

また、平成5年の大凶作の時、私のまわりでは、水稻で10アールあたり3～4俵程度しか収量がなかった方がいますが、私は8俵収量がありました。「土づくりをして稲体が堅くなり（ごわごわした感じ）いもち病、カメムシがつかなかった。」のが要因、土づくりの効果が、はっきりと表れた例でした。

農業技術でアドバイスは？

麦で言うなら排水が基本です。基本技術の徹底は大切です。

額縁排水をするかしないで、10アールあたり100kgは違ってきます。

水稻で言えば倒伏させてはいけません。倒したら稲はしっかり光合成ができず、米粒がデンプンでみたすことができなくなります。

若い農業経営者に一言

「チャンスロスをなくせ」ということです。

1000万円の農業機械をつかうのであれば、受託等おこなって、収入を増やさねばなりません。チャンスが転がっていても生かさねばなりません。



JAグループへの要望

販売面で努力してほしい。農家が精魂傾けて作った農産物を少しでも高く販売してほしい。



終わりに

土づくりに限らず、農業経営（税務・会計）にも精通されている、福井県を代表する農業経営者という感を強くしました。

「あしたも朝5時から作業するよ。」という一言から農業人としてのプライドと強い信念を感じる方でした。

今後、低迷している土づくり再生のため頑張ろうという意を強くしました。

今回の取材を一つの契機として土づくり再生に向けて重要性和効果を担い手農家の皆様に広く啓蒙していきたいと考えます。



第3回 TAC研修会開催 8月1日

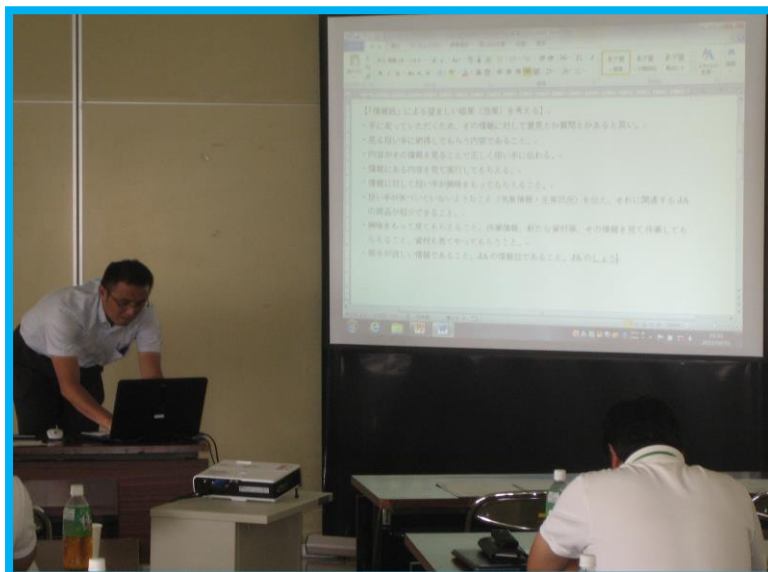


8月1日、経済連総合センターにおいて第3回TAC研修会が開催されました。県下8JAからTAC20名の参加がありました。

今回の研修会では、「水稻の今後の管理の留意点について」農業試験場 作物部 主事 中村真也氏・「福井県園芸作物の販売・流通について」経済連 園芸特産課 課長 大西則寛氏・「効果的な情報紙作成に向けて」全農TAC推進課 調査役 早見隆志氏による研修が行われました。水稻の管理については、ハナエチゼン・コシヒカリの生育状況や、品質向上のためのポイントとして①カメムシ防除 ②適切な水管理の徹底 ③適期収穫について学びました。

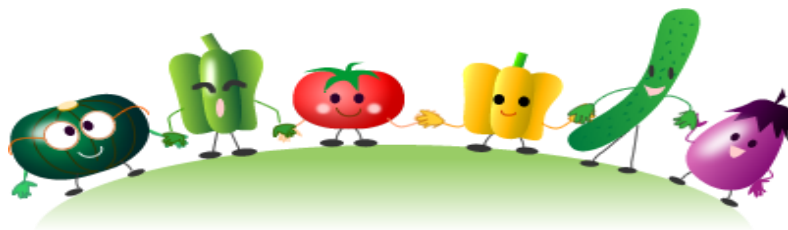
福井県園芸作物の流通については、野菜を取り巻く情勢、加工・業務用野菜の販売拡大に向けたJAグループの取り組みについて研修しました。

家庭内での消費は、世帯構成、ライフスタイルの変化等の理由から食生活における簡便化志向（カット野菜・惣菜の増加）食の外部化が進展していることから、JAグループは野菜生産・販売の構造的な変化に乗り遅れることなく、収支が安定する加工用野菜への振興啓蒙等、的確に対応していくことが大切であることを確認しました。



TACの活動の中で担い手に情報を提供する手段として「情報誌」を使うことから、情報誌作成について研修しました。情報誌を継続していくと何をのせようかと迷う事、ネタにも息詰まる事があります。まず、【①情報誌による結果（効果）を考える。②結果（効果）を出すための目的・内容を考える。③内容作成におけるネットワークを考える。】というところから、横の連携（各部署）など、情報が集まる環境をつくることなど、研修しました。

今後、アンケートで頂いた意見などをもとにTAC研修会を開催していきますので、ご参加ください。



福井米PR「米将軍」

吉本興業と福井米のコラボレーション！

J A福井県経済連と吉本興業は、9月1日から開始する福井米キャンペーン「うまい！しんまい！福井米キャンペーン2013」の出陣式を8月26日、大阪市中央区の吉本興業で開き、吉本新喜劇の小簀千豊座長が「米将軍」として委嘱状を受け取りました。小簀米将軍をはじめ「米爺(じい)」に新喜劇の今別府直之さん、「お米姫」に酒井藍さん、「宣伝奉行」に銀シャリ、「音楽奉行」に2700の計7人がPR隊に任命されました。



「平成の米将軍参上！」をテーマに、大阪をはじめ各地で4カ月にわたり、福井米のおいしさを伝えるキャンペーンを行います。同県産のコシヒカリとハナエチゼンは昨年、日本穀物検定協会の食味ランキングで初めて最高の「特A」を獲得しました。また、キャンペーンとしまして、福井米購入者から抽選で総計1,600名様にプレゼント。なかでも、合計150組600名様に小簀座長プロデュース1日限定！【福井米オリジナル新喜劇】福井米をストーリーに入れた新喜劇ご招待など、福井米をPRしていきます。

福井米 初出荷！

J A敦賀美方カントリー

福井県産新米が8月22日、敦賀市のJ A敦賀美方など県内5 J Aから初出荷されました。

J A敦賀美方・敦賀カントリーでは、初出荷のセレモニーが行われ、J Aや県、同市関係者約100人が出席しました。

出穂期は例年より5日ほど早かったが、初出荷の時期はほぼ例年並みで、猛暑が続いたため品質が心配されたが、すべて1等米と認定されました。

山田俊臣県5連会長は「田植えの時期以降は低温が続いたが、後半は好天が続き豊作基調となった。今後も福井米のさらなる品質向上を図っていきたい。」とあいさつしました。

この日は約327トンが県内のほか関西、東京方面に出荷された。本年度福井米の出荷契約数量はほぼ例年並みの8万4785トンを予定しています。





9月5日～9日、県と経済連、ライスレディーにて台湾のスーパー裕毛屋各店舗において、福井県物産展を開催し、福井県産コシヒカリの試食・販売、コシヒカリを使った焼きおにぎり、お菓子の試食・販売を実施しました。裕毛屋は、台湾の高級スーパーで、富裕層向けに店舗展開をしています。

9月6日 裕毛屋1号店、 9月7日 裕毛屋5号店、 9月8日 裕毛屋2号店と3カ所でPRしました。

各店舗とも、コシヒカリを中心に展開し、その他福井県産の食材（麴、甘エビ、カニ、鯖等）を使った商品を作って販売しました。



★福井特産市開催★



福井県経済連の女性職員で結成されたプロジェクトチームが、県内の菓子店と共同で県産の野菜や果物を使った菓子を開発しました。西坂洋菓子店スリールと共同開発ロールケーキ【とりこロール】はスポンジに100%の米粉を使用し、もちもちとした食感が特徴です。ケーキは3種類販売。越のルビーはゼリーとカスタードクリームが巻かれ、サトイモは黒糖で煮て、こしあんを混ぜた生クリームと一緒に抹茶入りの生地と合わせました。イチジクは赤ワインで煮て、ベリー類を交ぜた生クリームとともにプレーンの生地と合わせました。

杉本清味堂と共同開発されたお団子も福井県産コシヒカリを使い上庄さといもや嶺南特産の福井梅、あわら市の「とみつ金時」と合わせました。特に上庄さといもは、生地にも練り込んでサトイモのころ煮風にしました。

特産市では特別価格で販売され、ロールケーキが二個ずつの計六個入り500円、団子は三本セットで300円にて販売しています。是非、ご賞味ください。

次回10月25日開催

田んぼあーと



福井県越前町檜津にて田んぼアートが作られました。例年の2倍の面積になり迫力満点です。

今年はヤマタノオロチに勇ましく立ち向かうスサノオノミコトをデザイン。ボランティアら約80人が5月中旬に7色の稲で田植えを行いました。隣の約15メートルの高台にある宮崎中グラウンドから全体を眺めることができます。広さ約6千平方メートルの色鮮やかなアートは、風に揺られると今にも動き出しそうです。



小学生が稲刈・はさ掛け体験！

9月25日に収穫したばかりの稲を、はさ掛けする作業が福井市大手三丁目の県農業会館前でありました。

市内の麻生津小学校の三年生はJ A福井市南部青壮年部員らと福井市浅水（あそうず）三ヶ町の田んぼで刈り取り作業を体験しました。また、刈り取り後、五メートルの八段のはさに、束ねた稲を下の段から順々に掛けて行きました。

小学生は、終始笑顔で取り組んでいました。収穫したお米は11月頃おにぎりにして食べる予定です。



担い手対策課

土壌診断のススメ

担い手土壌診断費用助成情報

- 助成基準
基準項目の全項目分析を対象に半額助成
- 分析項目(基準項目)
水田土壌 (pH、CEC、リン酸、カリ、苦土、石灰、ケイ酸、腐植の8項目)
園芸土壌 (pH、EC、CEC、リン酸、カリ、苦土、石灰、硝酸態窒素の8項目)

農家指導の一環としてご活用ください。

詳しくは担い手対策課までお問い合わせください

土壌診断をすれば、こんなにお得!!

- 土の健康状態がわかります。
- 何が余分で何が足りないのか…肥料の適正な投入量がわかるので、施肥コストを減らせます。
- 診断結果に基づく土づくりや施肥で、作物の安定生産、品質の安定が図れます。



肥料農薬課

2013 担い手支援 新規農薬フレゼンテーション

日時：平成25年10月29日(火) 9:30~15:30

場所：福井県産業会館本館



提案内容

- ☆ 経営所得安定対策制度変更概要について
 - ☆ ポストコシヒカリ開発現状について
 - ☆ 米穀情勢について
 - ☆ 新規農薬紹介
 - ☆ 低コスト格納庫相談会
 - ☆ 農薬に関する相談会 等
- 内容が変更となる場合があります

農業機械課

除雪機のご購入は早めがお得! 【数量限定】

除雪機キャンペーン

9月1日(日)~11月30日(土)



期間中
ご成約の方に、
ガolin携行缶(10L)を
もれなくプレゼント!



抽選で10名様に
ゴアテックス ワークスーツ
1着プレゼント!!
(S~LLサイズ)



※数が限られておりますので、在庫のご確認をお願いします。

ガス課



期間中、購入された方に、粗品を進呈いたします。

さらに、3万円以上のガス器具を購入された方に、選べるギフト（5,000円相当）を抽選で30名様に進呈いたします。

詳しくはチラシをご覧ください。

自動車課

「乗りかえ★インセンティブ」実施中!!

期間:2013年8月29日～2014年3月末まで

軽トラックから
新型キャリイに乗りかえて

今なら **5万円** (消費税込み)

キャッシュバック

※詳しくは販売スタッフまでお問い合わせ下さい。



最小回転半径

3.6m

スズキ キャリイ
CARRY
軽トラ野郎

石油課

第3弾

JA-SS **ラッキー富くじ** 実施中

